

CASIO®

P

3429P * JA**取扱説明書****3429**

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り
扱いくださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

時刻・日付の合わせ方	33
タイドグラフ／月齢の見方	11
(潮の満ち引きと月齢を確認することができます)	
ワールドタイムの使い方	22
ストップウォッチの使い方	24
タイマーの使い方	26
アラーム・時報の使い方	29
ライトの点灯方法	8

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてお使いください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。



注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	表紙裏面
操作音について	5
操作音の ON / OFF 設定	5
操作のしくみと表示の見方	6
ライト点灯について	8
ボタンを押して点灯させる	8
ライト点灯時間の切替え	8
電子音に合わせてライトを点滅させる	9
ON / OFF 設定	9
液晶表示について	10
タイドグラフ（潮の様子）／月齢の見方	11
「現在時刻のタイドグラフ」を見る	11
調べたい日や調べたい時間のグラフを確認する	12
使用場所のセット	16
参考	18
ワールドタイムの使い方	22
都市のサーチ	22
サマータイム（DST）について	22
サマータイムの設定	22
都市コード一覧	23

ストップウォッチの使い方	24
計測のしかた	24
オートスタート機能	25
タイマーの使い方	26
タイマー方法について	26
電子音の報音について	26
タイマーのセット	27
タイマーの使い方（減算計測のしかた）	28
アラーム・時報の使い方	29
アラームについて	29
アラーム時刻のセット	29
アラームの ON / OFF 設定	31
鳴っている電子音を止めるには	31
モニターアラーム	31
時報について	32
時報の ON / OFF 設定	32
時刻・日付の合わせ方	33
時刻・日付の合わせ方 （ホームタイムの設定）	33

製品仕様.....	35
ご使用上の注意.....	38
お手入れについて.....	41
電池交換について.....	42
金属バンドの駒詰めについて.....	42

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音の ON / OFF を切り替えることができます。

■ 操作音の ON / OFF 設定

「セット中（表示点滅）」や「アラームなどの電子音が鳴っているとき」以外の、どのモードのときでも、

◎ ボタンを約 3 秒間押し
続けます

→ 確認音が鳴り、操作音の
ON / OFF が切り替わ
ります。

※ 操作音を OFF にしている
ときは、MUTE マークが
点灯します。

※ ◎ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますの
で、ご注意ください。

※ 操作音が OFF でも、アラーム音、時報音、タイマーの
タイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート
音は鳴ります。

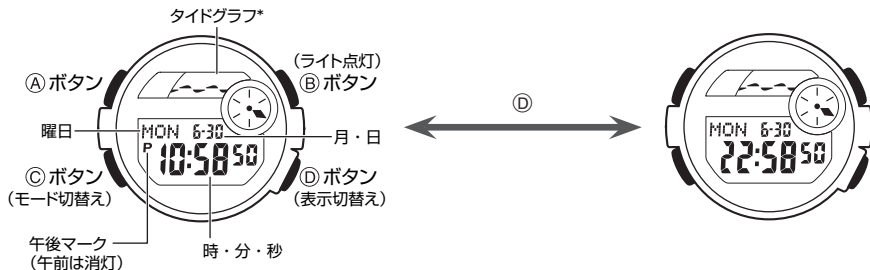


操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※ タイド／ムーンモード、アラームモードで 2 ～ 3 分間何も操作をしないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



* タイドグラフについては、11 ページを参照。

★曜日の見方

SUN : 日	MON : 月	TUE : 火
WED : 水	THU : 木	FRI : 金
SAT : 土		

★12/24 時間制切替え

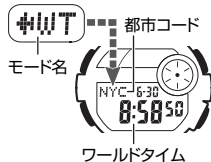
時刻モードのとき、④ ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。

タイド／ムーンモード



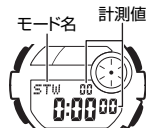
P-11

ワールドタイムモード



P-22

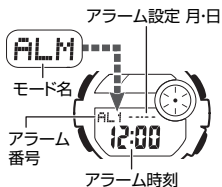
ストップウオッチモード



P-24

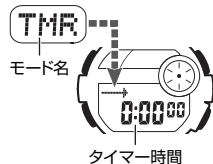
※ アラームモードから時刻モードに切り替わる時、モード名“◆HT” (HT = ホームタイム) が表示されてから、時刻が表示されます。

アラームモード



P-29

タイマーモード



P-26

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。

■ ボタンを押して点灯させる ～手動点灯～

どのモードのときでも、

② ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すとライトが点灯します。

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体から音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

① ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒ 「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

(約 1 秒間)



2. 点灯時間を選ぶ

② ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

※ ♠ マーク＝約 1.5 秒間

※ ⚡ マーク＝約 3 秒間



3. セットを終わる

③ ボタンを 2 回押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

電子音に合わせてライトを点滅させる

アラーム・時報、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音に合わせて、ライトを点滅させることができます。

■ ON / OFF 設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

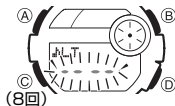
(約1秒間)



2. 「電子音に合わせてライトを点滅」設定にする

Ⓒ ボタンを 8 回押します

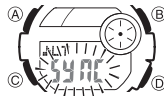
⇒「♪ LT」が点灯し、「----」または「sync」が点滅します。



3. ON / OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに ON「sync」と OFF「----」が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを 2 回押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

★ ON に設定しているときは、ストップウォッチモード、タイマーモード、アラームモードに切り替えると、1 秒間「sync」が表示されてから各モードの表示になります。

液晶表示について

機種によって液晶表示のタイプが異なりますが、本書は、
＜Aタイプ（白地に黒）＞の液晶表示で説明しております。
＜Bタイプ（黒地に白）＞をお使いの方は、Aタイプで黒く点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

※ 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、
1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

＜Aタイプ＞



＜Bタイプ＞



タイドグラフ(潮の様子)／月齢の見方

タイドグラフ、月齢は、使用する場所のデータ（時差・経度・月潮間隔）や日時などから「潮の様子」や「月齢」を算出して表示します。ご使用前に16ページをご覧ください、あらかじめ使用する場所のデータ（時差・経度・月潮間隔）をセットしてください。

※ 工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋9、経度140°E）、月潮間隔＝5時間20分」にセットされています。

ご注意

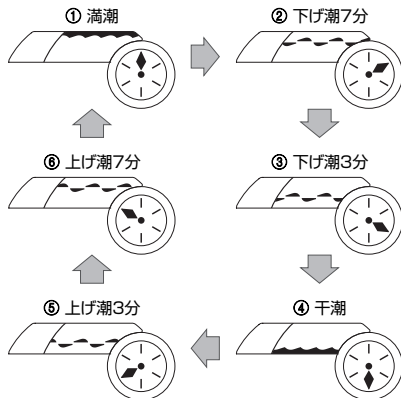
本機で表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。

本機のタイドグラフ表示は、あくまで潮の満ち干きの様子を見る「目安」としてお使いください。

■「現在時刻のタイドグラフ」を見る

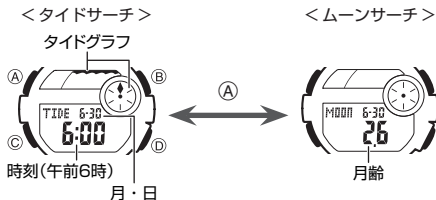
時刻モードのとき、現在時刻（時刻モードの時刻）のタイドグラフが表示されます。

※ 本機のタイドグラフ表示は以下のように6つの状態で「潮の様子」を表します。



■ 調べたい日や調べたい時間のグラフを確認する

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい ③ ボタンを押して、タイド／ムーンモードにします。
タイド／ムーンモードに切り替えると、タイドサーチまたはムーンサーチとなります。



※ タイドサーチまたはムーンサーチは前回見た方が最初に表示されます。

※ タイド／ムーンモードでは ④ ボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。

※ タイドサーチに切り替えたときは、「午前 6 時」の状態を表示します。

● 当日(時刻モードの日付)の各正時(00 分)のタイドグラフを見る

タイドサーチを表示しているときに、

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに 1 時間ずつ進みます。

※ 押し続けると早送りができます。



●日にちを送って探す

1. ムーンサーチにする

① ボタンを押します



2. 日にちを探す

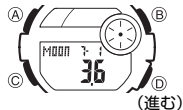
② ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すごとに 1 日ずつ進みます。

※ 選んでいる日にちの月齢が表示されます。

※ 押し続けると早送りができます。

※ 2000 年 1 月 1 日～2099 年 12 月 31 日までのサーチができます。



3. タイドグラフを見るときは…

③ ボタンを押します



4. 時刻を探す

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに 1 時間ずつ進みます。

※ 選んでいる日時のタイドグラフが表示されます。

※ 押し続けると早送りができます。

※ 2. で指定した日にちの中でのみ探すことができます。



●日にちを指定して探す

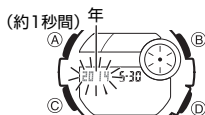
1. セット状態にする

タイド／ムーンモードのとき、

① ボタンを約1秒間押し続けます

→サーチ方法が切り替わった後、「年」が点滅します。

※セット状態で2～3分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

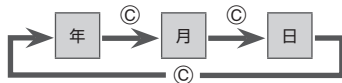


2. セット箇所を切り替える

② ボタンを押します

→点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※点滅箇所がセットできません。

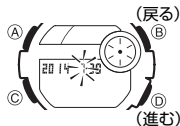


3. 点滅箇所をセットする

③ または ④ ボタンを押します

→④ ボタンを押すごとに1つずつ進み、③ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※③・④ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



手順 2.～3. の操作を繰り返して、年・月・日をセットします。

※セットは2000年1月1日～2099年12月31日までできます。

4. セットを終わる

⑤ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。



★サーチ方法を切り替えるときは…

④ ボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。

★タイドサーチのときは…

④ ボタンを押すごとに 1 時間ずつ進みます。

※ 選んでいる日時のタイドグラフが表示されます。

※ ④ ボタンを押し続けると早送りができます。

※ 指定した日にちの中でのみ探すことができます。

★ムーンサーチのときは…

④ ボタンを押すごとに 1 日ずつ進みます。

※ 選んでいる日にちの月齢が表示されます。

※ ④ ボタンを押し続けると早送りができます。

※ 2000 年 1 月 1 日～2099 年 12 月 31 日までのサーチができます。

■ 使用場所のセット

- 使用場所のセットは、一度行えば再びセットする必要はありません。ただし、引っ越しや旅行などで大きく移動したときは、その場所に合わせてセットしなおしてください。
- 工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋9、経度 140° E）、月潮間隔＝5 時間 20 分」にセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

(約1秒間)



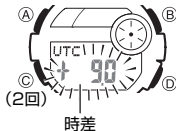
2. 「時差」の設定にする

Ⓒ ボタンを 2 回押します

⇒「時差」が点滅します。

※ 時差については 23 ページの「都市コード一覧」をご覧ください。

※ UTC＝Coordinated Universal Time（協定世界時）



3. 「協定世界時 (UTC)」との時差をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに 0.5 時間ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 0.5 時間ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ 時差は 0.5 時間単位で -12～0～+14 時間までセットできます。

※ サマータイム (DST) の ON/OFF にご注意ください。

* サマータイム (DST) については 22 ページ参照。



4. 経度をセットする

Ⓐ ボタンを押します

⇒「経度値」が点滅します。

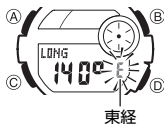


5. 経度と月潮間隔の設定にする

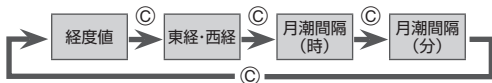
◎ ボタンを押します

⇒点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※点滅箇所がセットできます。



東経



※ 経度をセットするときは、20ページの「日本の経度」を、月潮間隔をセットするときは21ページの「月潮間隔一覧表」を参照してください。

6. 経度と月潮間隔をセットする

◎ または ◎ ボタンを押します



月潮間隔
(時)

月潮間隔
(分)

★経度値をセットするときは…

◎ または ◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに1度ずつ進み、◎ ボタンを押すごとに1度ずつ戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ 経度値は1°単位で0～180°までセットできます。1°未満の端数は丸めて入力してください。

例) 50° 40' = 51°

※ LONG=Longitude (経度)

★東経・西経をセットするときは…

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとにE (東経) とW (西経) が切り替わります。

★月潮間隔をセットするときは…

◎ または ◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ INT=Lunitidal Interval (月潮間隔)

手順 5. ～ 6. の操作を繰り返して、経度と月潮間隔をセットします。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

■ 参考

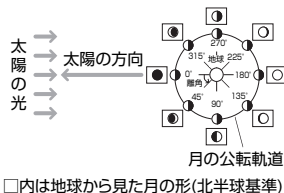
● 月の満ち欠けと月齢

月は約 29.53 日の周期で満ち欠けを繰り返します。これは月の公転により地球と太陽に対する月の位置（月の離角）が少しずつずれることで、地球から見た月の影の見え方が変わるためです。

なお、月の満ち欠けや月相のことを天文用語では「月の盈虚（えいきょ）」といいます。

※ 月齢…新月（朔：さく）からの経過時間を日数で表したもの

※ 月の離角…地球から見て太陽の見える方向からの角度



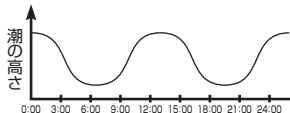
月の満ち欠け	月の離角	月齢
新月(朔:さく)	0°	0.0日
上弦	90°	約7.4日
満月(望:ぼう)	180°	約14.8日
下弦	270°	約22.1日

※ なお、本機は月の平均朔望周期（29.53 日）を利用した計算法で算出しているため、実際の月齢との誤差は ± 1 日になることがあります。

●タイド（潮汐）とは

地球上の海面は、約 6 時間ごとに高くなったり、低くなったりする昇降運動を繰り返しています。

これは、潮汐（ちょうせき）と呼ばれ、主に月の引力に作用されて起こる現象です。



●本機のタイドグラフは

本機は、月の正中時間と月潮間隔から、潮の満ち干きの様子をグラフ表示（＝タイドグラフ）します。地域（港）により月潮間隔が異なるため、あらかじめその時間（＝月潮間隔）を本機に設定しておく必要があります。地域ごとの月潮間隔は21 ページ「月潮間隔一覧表」を参照してください。

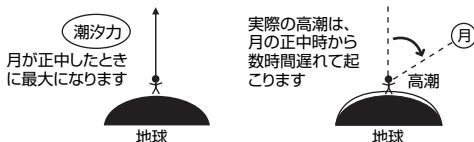
※ なお、日本海側および半月（小潮）のときは、潮汐現象がはっきり現れないため、誤差が大きくなります。

●月潮間隔について

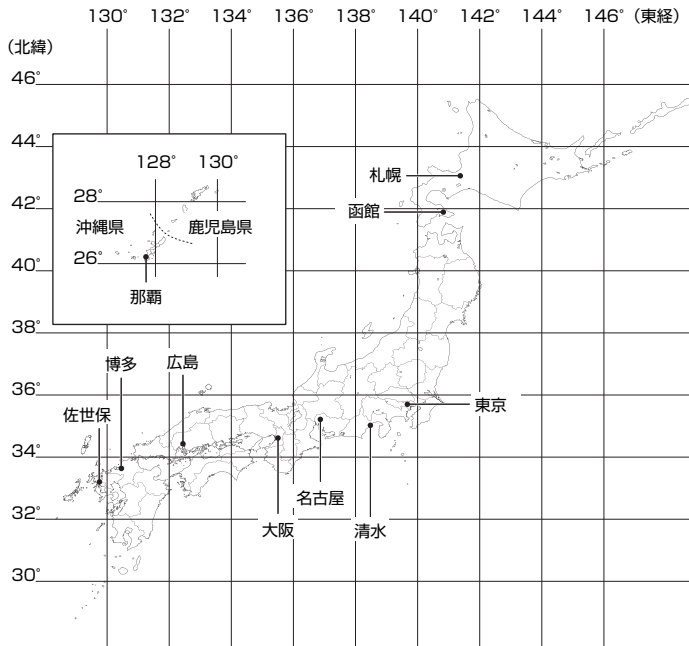
理論上では、月が正中したとき（下図左）に高潮（こうちょう：満潮の極限）になり、その約 6 時間後に低潮（ていちょう：干潮の極限）になるといわれています。ただし、実際の地球上では、海水の粘性や摩擦、海底の地形などの影響によって正中時より遅れて高潮になります（下図右）。この時間差を「月潮間隔」と呼びます。

月が正中後、高潮になるまでの時間差を「高潮間隔」、低潮になるまでの時間差を「低潮間隔」と呼び、この2つを総称して「月潮間隔」といいます。「月潮間隔」は同じ日本国内でも地域（港）により異なります。

なお、それぞれの地域で長期間にわたって調査した「高潮間隔」の平均値を「平均高潮間隔」といいます。



●日本の経度



●月潮間隔一覧表

～日本の港における平均高潮間隔～

この表の使い方

本機を使用する場所（港）を探し、その場所に一番近い地域の月潮間隔を読み取り、その時間を本機に入力すると、その場所でのタイドグラフを表示できます。

地 域	地(港)名	平均高潮間隔 時：分	地 域	地(港)名	平均高潮間隔 時：分	地 域	地(港)名	平均高潮間隔 時：分
北海道北岸	紋別*	3:04	東 京 湾	千葉灯標	5:15	四国南岸	高知	5:59
北海道西岸	稚内*	3:59		東京／芝浦	5:18	豊後水道	宇和島	7:15
	留萌*	4:23		横浜／新山下	5:18	南方諸島	八丈島／神湊	5:28
	小樽*	4:10		横須賀	5:15		父島／二見	6:27
北海道南岸	函館	3:46	瀬戸内海	和歌山	6:29	本州北西岸	浜田	12:11
	室蘭	3:37		小松島	6:13		境	2:20
	苫小牧	3:39		大阪	7:25		舞鶴／第1区	2:27
	浦河	3:41		神戸	7:28		富山	2:50
	釧路	3:39		姫路／飾磨*	11:08		新潟／西区	3:02
本州北岸	青森	3:32		宇野	11:10		秋田	3:16
	大湊	3:44		高松	11:15	九州北岸	博多／東浜新心頭	9:36
本州東岸	八戸	3:37		水島	11:18		唐津	9:22
	釜石	3:53		尾道	11:03		対馬／厳原	8:42
	塩釜／港橋	4:04		新居浜	11:01	九州西岸	佐世保	8:17
	小名浜	4:15		広島	9:36		長崎／松ヶ枝	7:55
	鹿島	4:23		呉	9:38		三池	8:50
本州南岸	南伊豆(小稲)	5:36		松山	9:07		三角	8:42
	清水	5:47		大分／鶴崎	8:22	九州南岸	鹿児島	7:05
	衣浦／武豊	6:04		刈田	8:53	九州東岸	油津	6:01
	名古屋	6:09		徳山	8:41		細島	6:06
	四日市	6:05		宇部	8:49	南西諸島	奄美大島／名瀬	6:49
	尾鷲	5:54		下関／壇の浦	8:58		那覇	6:50
	串本	6:02		門司／旧門司	8:57			
	田辺	5:58		八幡	9:52			

※上記の表は、高潮と低潮が1日2回ずつおきるときの月潮間隔を記載しています。ただし、*印のついた地域は、高潮と低潮の間隔にばらつきがあるため、季節により高潮と低潮が1日1回ずつしか起きないことがあります。このような時期では、本機のタイドグラフと実際の潮汐現象とが大きく異なりますのでご注意ください。

出典：海上保安庁「書誌第781号 平成10年 潮汐表 第1巻 日本及びその付近」
水路図誌利用「海上保安庁図誌利用 第100043号」

ワールドタイムの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン (48 都市) の時刻を簡単に知ることができます。

※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ 時刻モードで基本時刻（ホームタイム）および時差をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に 24 時間制で表示されます。

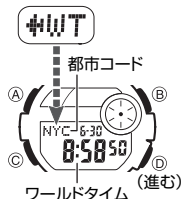
都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに「都市コード」が 1 つずつ進みます。

※ 押し続けると早送りができます。



サマータイム(DST)について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

2. ◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます (約 1 秒間)

⇒ DST マークが点灯して、サマータイム設定 * になります。

* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より 1 時間早まります。

※ DST マークが点灯しているときに、◎ ボタンを約 1 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。

※ 都市ごとにサマータイムの設定ができます。



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ	LON	0	ロンドン	KHI	+5	カラチ
HNL	-10	ホノルル	BCN	+1	バルセロナ	MLE	+5	マレー
ANC	-9	アンカレジ	PAR	+1	パリ	DEL	+5.5	デリー
YVR	-8	バンクーバー	MIL	+1	ミラノ	DAC	+6	ダッカ
SFO	-8	サンフランシスコ	ROM	+1	ローマ	RGN	+6.5	ヤンゴン
LAX	-8	ロサンゼルス	BER	+1	ベルリン	BKK	+7	バンコク
DEN	-7	デンバー	ATH	+2	アテネ	SIN	+8	シンガポール
MEX	-6	メキシコシティ	JNB	+2	ヨハネスブルグ	HKG	+8	香港
CHI	-6	シカゴ	IST	+2	イスタンブール	BJS	+8	北京
MIA	-5	マイアミ	CAI	+2	カイロ	SEL	+9	ソウル
NYC	-5	ニューヨーク	JRS	+2	エルサレム	TYO	+9	東京
CCS ^{*1}	-4	カラカス	MOW ^{*2}	+3	モスクワ	ADL	+9.5	アデレード
YYT	-3.5	セントジョンズ	JED	+3	ジェッダ	GUM	+10	グアム
RIO	-3	リオデジャネイロ	THR	+3.5	テヘラン	SYD	+10	シドニー
RAI	-1	プライア	DXB	+4	ドバイ	NOU	+11	ヌーメア
LIS	0	リスボン	KBL	+4.5	カブール	WLG	+12	ウェリントン

※この表は本機の都市コードの一覧です。

※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

※各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。

^{*1} 2013年12月現在、CCS（カラカス）の時差は「-4.5」に変更されていますが、本機では対応しておりません。

「時差-4の地域」としてご使用ください。

^{*2} 2013年12月現在、MOW（モスクワ）の時差は「+4」に変更されていますが、本機では対応しておりません。

サマータイム設定をONにして、1時間進めてご使用ください。

ストップウォッチの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

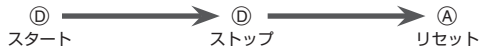


★ 計測中に (A) ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります (“SPL” 表示)。

※ スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★ 計測終了後 (A) ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

● 通常計測



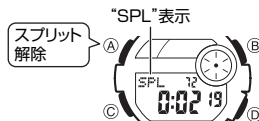
<積算計測>

ストップ後リセットせずに ◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



<スプリット表示中>



● 1・2 着同時計測



■ オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の 5 秒前からカウントダウンを開始し、3 秒前から 1 秒ごとに電子音で報知するものです。

● オートスタート表示にするには

計測リセット状態のとき、

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに通常表示とオートスタート表示とが切り替わります。

<オートスタート表示>

カウントダウン秒数



● オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、

② ボタンを押します

→ 5 秒前からのカウントダウンを始めます。3 秒前から 1 秒ごとに電子音が鳴ります。

※ カウントダウンを中止し、すぐにスタートするときは、② ボタンを押します。

※ 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

※ 計測を終了してリセットをすると、オートスタートも解除されます。

タイマーの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で 24 時間までセットすることができます。1 秒単位で減算計測をします。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリポートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については 27 ページ参照。

● リポートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

● オートリポートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測を止めるまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測をします。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。

* 予告音の ON / OFF 設定については 27 ページ参照。

● 予告音 ON に設定したときは

残り時間 5 分 10 秒～ 5 分のとき	1 秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間 4 分～1 分 のとき	1 分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間 30 秒	電子音が 1 秒鳴ります。
残り時間 10 秒～0 秒 (タイムアップ)	1 秒ごとに電子音が鳴ります。

※ セットした時間が 5 分以下のときは途中から鳴ります。
セットした時間が経過すると 1 秒間の電子音でタイムアップをお知らせします。

● 予告音 OFF に設定したときは

セットした時間が経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップをお知らせします。

※ 電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間
押し続けます

⇒ タイマー時間の「時」
が点滅します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分
間何も操作をしないと、
自動的にセット状態が
解除されます。

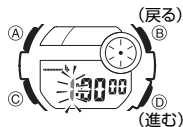


2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを
押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに
1 つずつ進み、Ⓑ ボタ
ンを押すごとに戻りま
す。

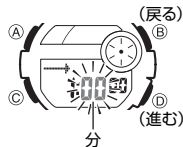
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
※ 1 分単位で 24 時間までセットできます。
※ タイマー時間を 24 時間に設定するときは、表示を
“0:00” にします。



3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

⇒ 「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に Ⓓ
または Ⓑ ボタンでセット
します。



4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに
リピートタイマー “→”
とオートリピートタイ
マー “C” が切り替わ
ります。



5. 予告音の ON / OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに
ON / OFF が切り替わ
ります。

※ ♪ ON = 予告音 ON
♪ OFF = 予告音 OFF



6. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

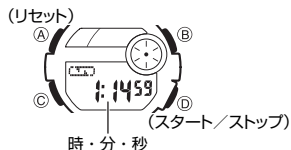
■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、

② ボタンを押します

⇒② ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※ 計測は 1 秒単位で行います。



★ 計測ストップ後 ① ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。

★ ② ボタンでストップ後、もう一度 ② ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL2)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。

なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

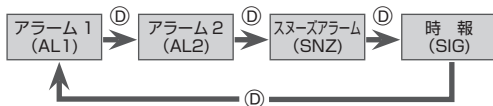
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



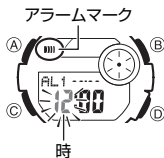
2. セット状態にする

① ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、アラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。



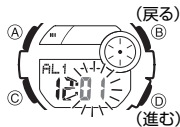
4. 点滅箇所のセット

② または ③ ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、③ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ②・③ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

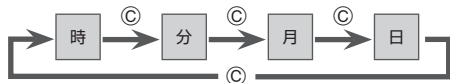
※ 「月・日」をセットしないときは、「-」または「--」を選びます。



3. セット箇所を選ぶ

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



手順 3. ～ 4. の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

※ 「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- ・ 毎日鳴らす → 「時・分」のみセット
- ・ 1 ヶ月間毎日鳴らす → 「月・時・分」のみセット
- ・ 毎月同じ日に鳴らす → 「日・時・分」のみセット
- ・ 指定月日に鳴らす → 「月・日・時・分」すべてセット

5. セットを終わる

⑤ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームの ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**Ⓓ** ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。

※ アラームが ON のときアラームマークが点灯し、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームが ON のときは、アラームマークとスヌーズマークの両方が点灯します。

<アラーム 1 表示>



<スヌーズアラーム表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※ スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※ スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作をすると、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき
- スヌーズアラームをセット状態にしたとき
- 時刻モードでセット状態にしたとき

■ モニターアラーム

アラームモードで **Ⓓ** ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**⑩** ボタンを押して、時報表示を選びます。

⑨ ボタンを押します

→ **⑨** ボタンを押すごとに、時報の ON / OFF が切り替わります。

※ 時報が ON のとき時報マークが点灯し、時報が鳴ります。

< 時報表示 >



時刻・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

電池交換後などで、時刻や日付が合っていないときは、以下の方法でセットします。

■ 時刻・日付の合わせ方 (ホームタイムの設定)

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

(A) ボタンを約 1 秒間押し続けます

(約1秒間)



→「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて **(D) ボタン**を押します

→「00 秒」からスタートします。

※ 秒が 00 ～ 29 のときは分の桁は変わらず「00 秒」になり、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)。



3. サマータイム (DST) の ON / OFF を選ぶ

**(C) ボタンを押してから、
(D) ボタンを押します**

→ **(D) ボタン**を押すごとに ON / OFF が切り替わります。

※ OFF =サマータイム OFF (通常時間)
On =サマータイム ON (夏時間)

* サマータイム (DST) については 22 ページ参照。



4. 「時計を使用する地域の時刻（ホームタイム）」と「協定世界時（UTC）」との時差を設定する

③ ボタンを押してから、
④ または ⑤ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに「時差」が 0.5 時間ずつ進み、
⑤ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ④・⑤ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
※ 時差を設定してから、時刻をセットしてください。



b. ④ または ⑤ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、⑤ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ④・⑤ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

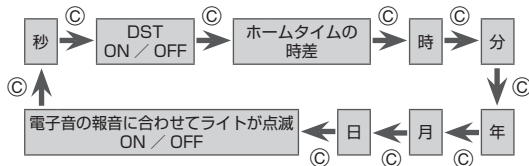


手順 a. ～ b. の操作を繰り返して、時刻・日付を合わせます。

5. 「時刻・日付」合わせ

a. ③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



6. セットを終わる

③ ボタンを 2 回押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差± 30 秒

基本機能：時・分・秒、
午前／午後 (P) / 24 時間制表示、
年・月・日・曜日、
フルオートカレンダー
(2000 ~ 2099 年)

タイドグラフ / : タイドグラフ、月齢、
月齢表示機能 時刻・日サーチ機能

ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン (48 都市) の
時刻を表示、サマータイム設定機能

ストップウォッチ機能：計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測、
オートスタート機能

タイマー機能：セット単位 = 1 分
計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 24 時間
リピートタイマー / オートリピートタイマー切替え、予告音 ON/OFF 切替え

アラーム機能：時刻アラーム

セット単位 = 時・分・月・日

電子音 = 10 秒間

通常アラーム = 2 本

スヌーズアラーム = 1 本

時報 毎正時に電子音で報時

その他の：自動復帰機能、
サマータイム設定機能、
12/24 時間制表示切替え、
モニターアラーム、
EL バックライト、
電子音の報音に合わせてライト点滅、
操作音 ON/OFF 切替え

使用電池：CR2025 1 個 (電池別途販売)

電池寿命：約 10 年

(電子音 10 秒間 / 日、ライト 1.5 秒間 / 日、予告付タイマー計測 (タイムアップ 1 回) 1 回 / 週、オートスタートストップウォッチ計測 1 回 / 週 (電子音の報音に合わせてライトを点滅) 使用した場合)





ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうすやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用する
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のビンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落したり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- とときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

